

郊外住宅地のボランティアまちづくり

—みんなの笑顔を求めて—

星田山手ボランティア・街づくり推進会代表 内野 藤彰

1.活動方針・目的

ボランティア活動は自主的な参加により地域住民に貢献し喜んでいただけることであると考え、奉仕活動や各種イベントを取り組み、活性化させることで地域住民が互いに知り合い、技術を発揮し、話し合えることで、みんなの幸せにつなげることを目標としている。

子や孫がいつの日か喜んでUターンいただけるよう、安心・安全に暮らせる住み良い魅力あるまちづくりを進めていく。

2.活動内容

星田山手ボランティア・街づくり推進会は平成19年に発足、既に活動していた「山ナリエ」(イルミネーション)によるまちおこしを加速してTVや雑誌で取り上げられるなど、又新年の「どんど焼き」「盆踊&夏祭り」秋の「コスモス祭り」などのイベントや、交野市との連携による救急・救命講習会、防災訓練、傍示川清掃活動、学童見守り隊の創設など住民ボランティアによる積極的で多岐に亘る取り組みを行っている。

3.他の活動団体の参考となる事例

草が生い茂る遊休地を住民ボランティアで切り開き、市民農園や多くのイベント来訪者の駐車場に活用するなど各種イベントに利用している。併せて日常の維持管理を行う事で交野市、地権者、星田山手住民の三者がwin-winの関係を築いている。資金等は行政からの資材提供もあるが、鉄屑・アルミ缶収集や、各種ボランティア支援金や寄付金の応募により確保している。

また顔見せ総会、日帰りバスツアーを各々年一回開催するなど、ボランティア相互の親睦を図っている。

4.今後の課題等

住民流出をいかに抑え、若者を流入させるかが課題であり、解決のためにはこの取り組みの継続とさらなる発展が必要であると考え、今後も話せる場作りを行い、次の点に留意しながら、「安心・安全」に暮らせる「住み良い魅力あるまちづくり」を進めていく。

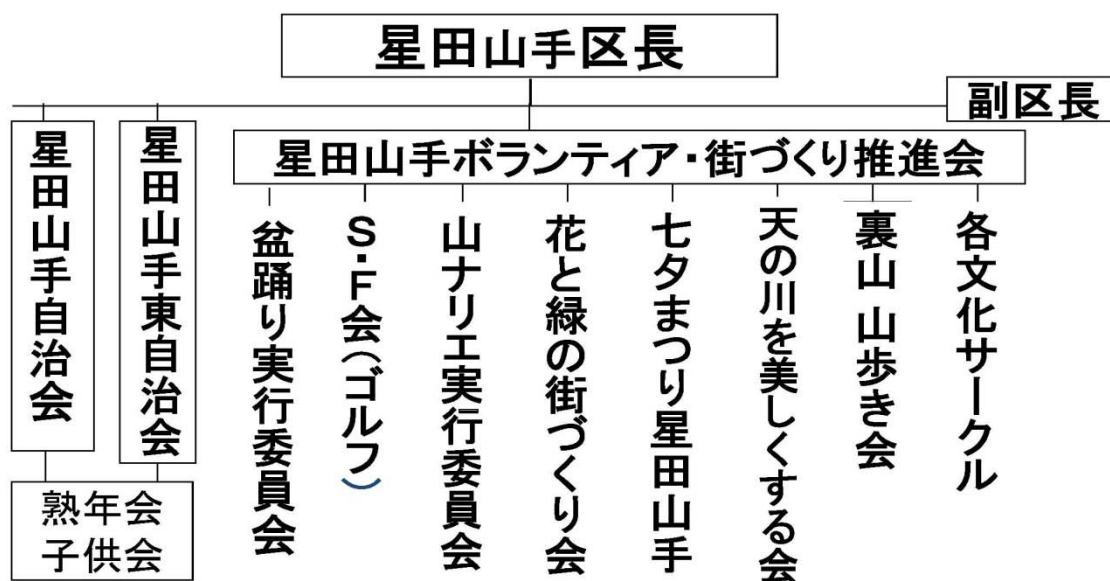
- ・まちづくりにはキーマンが必要であるため、後継者の発掘で各行事担当実行委員長制。
- ・ボランティアの高齢化に伴う、各イベントの機械化等での軽減化と新規参加者の登録。
- ・イベントに子供達を呼び込むことで若い世代との交流を図りより多くの参加者を募る。
- ・新規に居住方に親切に活動を紹介しサークル活動に参加して頂く事で新風を入れる。

交野市星田山手地区
「郊外住宅地のボランティア街づくり」
☆みんなの笑顔を求めて☆

交野市星田山手区 区長
渡邊 省三
平成26年3月1日

組織体制

H19・4・1 発足



他にも多くのボランティアが有ります、奮って参加を！

平成25年度のボランティア主な活動報告

活動行事	実施状況
傍示川花見大会を実施	・山手橋下流の傍示川沿いで実施(4月)
傍示川整備	・草刈りなどで整備 (H25年度は6回) ・桜追加植樹(6本)を実施。植樹合計は101本。桜合計は168本
「ソーメン流し」の実施	・竹伐り出しから、水路設定、運営まで応援 (7月)
織姫の里天の川星まつり	・従来の「交野まつり」と「天の川七夕まつり」が一体となって第2回目の行事に参加。竹燈籠・笹飾り 等を設置(8月)
「盆踊り&夏まつり」を支援	・最大行事である「盆踊り&夏まつり」を全面的に支援(8月) (突然の嵐のためテント等修復し準備をやり直して1日順延)
「コスモス祭り」を実施	・今回は第5回目となる「星田山手コスモスまつり」を実施(10月)
「山ナリエ」の応援	・公共の場の飾りつけ (11月) ・警備本部設置と連日の警備 (12月) 後片付(1月)
「どんど焼き」支援	・今回より実行委員会単独で企画運営を実施(1月) ・どんど焼きの材料確保 ・組み立てから最終後片付けまで実施 (星田神社の協力で神事を実施。昨年からの餅つきも実施)
和み広場の整備	・「花とみどりの会」の全面的な支援で各種の作物を植つけ (コスモス、菜の花、矢車草、綿の木 等々)

3



2013年4月 傍示川花見大会



2013年7月 ソーメン流し大会



2013年8月 盆踊り&夏まつり



2013年 10月 コスモスまつり



2013年12月 山ナリエ
(NHKで全国放送)



2012年12月 救急救命講習会



2014年2月第4回バスツアー(長浜)

地域支援活動へ展開

活動行事	実施状況
自治会支援	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年交代の自治会の役員会に出席 ・市への各種要請と実施確認 ・行事のサポート(設営、運営など) ・広場及び法面管理 ・防災訓練の支援
「ごきげんさん活動」	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会員の任命と定例会議の実施 ・高齢者訪問(一人暮らし、病気元家庭)で健康状況等確認 ・毎月ニュースを発行(お元気ですか) ・ゴミ屋敷の解消・荒れた空家の周辺整備・行方不明者の捜索
校区福祉活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉活動(子育てサロン、いきいきサロンなど) ・毎朝のラジオ体操、挨拶運動 ・元気アップ体操の支援
子供会・学校への活動支援	<ul style="list-style-type: none"> ・学童の登校の見回り(通年) ・夏休み子供ラジオ体操支援 ・河内木綿の栽培・収穫加工支援 ・週一の学校でのフリースペース活動支援
傍示川を美しくする会の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・傍示川の側道の草刈り等保守活動 ・傍示川の桜並木の整備 ・傍示川の安全対策(板柵の保守等の活動)

11

「ごきげんさん連絡協議会」を発足

- 高齢者が増加する為に各種支援活動が必要となる。
(含む:行方不明者捜索)



辞令の交付



会議の状況



声掛け活動の姿



ゴミ屋敷よりゴミの回収

広場及び法面の整備

■不法投棄品の捨て場からイベント広場、市民農園、災害時の一次避難所への変身

〔広場でのイベント他の活用〕

- ①どんど焼き ②素麺流し ③盆踊り&夏祭り
- ④コスモス祭り⑤ラジオ体操⑥その他スポーツ

■何も生えていなかった法面は森林化し安全面、景観面で問題が発生。不要な松、檜、樅等の大木を伐採、必要な物のみに変化させ調和が取れるようにした。

13

広場整備と地域農園づくり



背丈より高い草刈

荒れに荒れていた広場の整備



整備後の一時



警察もびっくり盗難バイク

傍示川を美しくする会の結成

■ 傍示川の現状は荒れ放題で会ったのを見て皆で良くしようとの声で大阪府、交野市を巻き込んで活動を開始



川を覆いつくすニセアカシヤ



不法投棄品の山

第一回活動開始

■ 活動をするにあたりヘルメットやチェーンソー、竹粉碎機などを各所から借用して活動を開始



70名の参加者と記念写真(平成20年2/27)

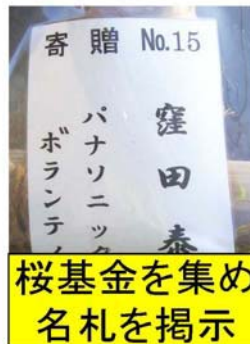
傍示川桜並木構想へ展開



記念植樹後の記念写真



アドプトリバーの認証

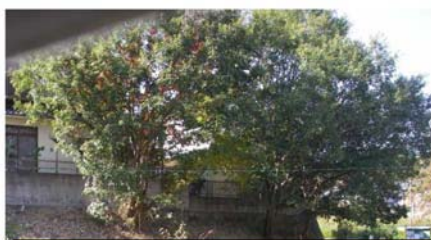


桜基金を集め
名札を掲示



記念の植樹

傍示川土嚢1万俵作戦



崩落の要因の大木伐採



作業完了後の記念撮影



土嚢1万袋の積み上げ



土留め柵の完成

自治会の課題

- 自治会の加入が100%ですが脱会希望者や新規居住者の入会拒否が発生しかけている。
- 役員が一年交代ですが負担増及び健康状況等で辞退者が多く毎年調整がいる。
- 自己を守る事が精一杯で新しい転入者を暖かく迎える事が出来ない風潮が増加。
- 葬儀をしない等の社会通念が変わってきた事で近所の繋がりが欠如(ゴミ集積所等井戸端会議無し)
- 行事を減らしたが一方自治会とはの論議。

19

自治会よりボランティアに移管した行事



〔星田神社宮司による神事〕

2014年. 1月どんと焼

ボランティア活動の課題

- 行事が年々増え更に高度化への歯止めが必要。
- 活動メンバーが固定化、新規参加者が増えない。
- 派閥が出来てくる ⇒ 責任者のリーダーシップ。
- 高齢化で今までできた事が出来なくなりつつある。
- 楽しい事を求め情報交換の場への転換がいる。
- 活動資金の捻出(寄付、自治体や企業交付金)

21



校区福祉委員会の活動と課題

◎ 民生児童委員中心の活動を支援。

■ 活動

①いきいきサロン②子育てサロン③映画会

④元気アップ体操⑤挨拶運動

■ キーマンと応援者が中心で運営しているが後継者問題が課題である。

■ 校区福祉委員会は3区に跨り責任範囲が不明確で有り混乱している⇒区の編成に課題が有る。

23

子供会・学校への支援が課題

■ 子供会の運営が困難に成ってきている。

☆ 共稼ぎや母子家庭が増え役員の成り手がいない。

☆ 小学校が違っても子供会に入っている。

■ 学童登校の見守り(20名強の人で行っている)

■ ラジオ体操も支援しているが子供達！

■ 河内木綿の栽培・収穫・加工の支援

■ 学校のフリースペースでの支援！

24



学童見回り隊（登校日毎日 通年）

まとめ

- 街づくり始め何事も「一将の陰」責任者次第！
- お金を集めたり引き出す算段が必要！
- 行事を公にする努力が必要！
- 自分の存在が皆さんが幸せかを念頭に置く活動！
- 話せる場づくりを今後も求め続けていきます！！